道路や建設事業に関する意見

・どんなに財政難でも、除雪だけはお願いしたいです。 また、もっと早くきれいに除雪してください。

議会からのこたえ

除雪の意見はたくさんいただきました。除雪機械は限られているので、全ての地域に一度に除雪に行くのは難しく、大雪が降った時は一度にきれいに除雪できないこともありますので、ご理解をお願いします。

高校存続に関する意見

- ・葛巻高校がなくなると、経済的理由で高校 進学をあきらめなければなりません。高校 存続を望みます。
- ・葛巻高校がなくなると、地域経済にも影響が心配されます。
- ・中高一貫教育なのに、通学手段がなくて葛 巻高校に通えません。スクールバスを考え て欲しいです。

-議会からのこたえ-

高校の存続問題は、保護者だけではなく、町と議会、 そして町民の皆さんも考えていかなければなりません。 議会は、県に強く高校存続を要望し、生徒確保策 を検討していきます。また、スクールバスの要望は、住 民の足確保対策と総合的に検討します。

議会に対する意見

- ・思い切った議員定数削減に賛成です。今後の皆さんの活躍を期待します。
- ・今の議員は地区の代表のような感じです。 町全体を見て欲しいです。
- ・町外視察は本当に必要ですか?
- ・議員の皆さんがどのような考えを持って 町政に携わっているのか見えません。もっ と町民に伝える努力をしてください。

議会からのこたえー

皆さんのご意見を、大変重要なものと考え、厳 しい批判も真摯に受け止めています。

住民の皆さんの期待にこたえるために、今後の活動を見直しながら情報提供に努めます。

高齢者・障害者福祉 に関する意見

- ・夫婦2人年金生活で子供にも頼れず将来 が不安です。
- ・物が豊かな現在、敬老会の贈り物のあり 方を考えてはいかがでしょうか。
- ・体が不自由でも家族のために働きたいの で、働ける場所を作って欲しいです。

議会からのこたえ

高齢者や障害者の福祉対策は、全国的な問題です。皆さんの意見を参考に、議会としても対策を検討していきます。



これからの議会の取り組み

みなさんの要望全てをかなえることは、議会としても町としても大変難しいことですが、引き続き議会で調査・研究を続け、今後の町づくりの参考にしたいと考えています。

また、一部の意見の中には誤解と思われる内容もありました。議会では今後、町政に関する十分な情報を、より分かりやすく提供する必要があると感じています。町民の皆さんも、町の広報や議会の広報を読みながら、引き続き町政に関心を持ち、議会や町と一緒に町づくりを考えていきましょう。

議会では、今後も「わたしの意見」を郵送やファックスで受け付けます。みなさんの声を聞かせてください。 〒028-5495 葛巻町葛巻16-1-1 葛巻町議会事務局 電話:0195-66-2111/FAX:0195-66-2780 e-mail:gikai@town.kuzumaki.iwate.jp

こんなご意見いただきました。

「わたしの意見」に議会としてお答えします。 また、今回紹介できなかった意見も、今後の町づくりの参考にしていきます。

市町村合併に関する意見

- ・「自立のまちづくり」が「孤立のまちづくり」にならないか心配です。
- ・町の予算不足や人口減少の中で、自立にのみこだわっていていいのでしょうか。
- ・町の自立を希望しますが、何年くらい存続可能なのでしょうか。
- ・無理に合併せず、葛巻の産物や特色を生かすことを考えて欲しいです。

議会からのこたえー

近隣町村が次々に合併する中、「当面自立」の町の方針に、町民の皆さんは不安を抱かれているようです。確かに町の財政問題は深刻ですが、合併した他町村の例を見ても、必ずしも合併で問題が解決するわけではなく、合併は慎重に考えなければならない問題です。

議会では、自立を目指した改革と平行して合併を見据えた研究も続けるよう、3月定例会の決議で町に申し入れました。また、議会としても継続してこの問題に取り組みます。

教育・児童福祉に関する意見

・小学校6年生まで学童保育できないでしょうか。子供を狙った事件も多く、 一人で家に残すのが心配です。 ・少子化対策に力を入れて欲しいです。



−議会からのこたえ

少子化問題や子育て支援を重要課題と認識しました。 議会は、「少子化対策特別委員会」を組織し、この問題 に取り組みます。

バスや交通手段に関する意見

- ・一戸病院へ行くのに、バス の本数が少なく不便です。
- ・土日、祝日に江刈方面のバスが運休するので、通勤に も不便です。



議会からのこたえ

住民の足確保に対する要望は多く、町の重要課題です。議会は「バス交通対策特別委員会」を設置し、路線バス、通院バス、スクールバスなど総合的な町民の足確保対策を検討します。

協働のまちづくりと 行財政改革に関する意見

- ・町に補助金を求めるだけではなく、まずは自分たちでやってみてはどうでしょうか。
- ・協働のまちづくりには賛成ですが、 高齢者が多く奉仕活動には限界が あると思います。
- ・畜産公社など第3セクターは、民 営化を図った方がいいと思います。

- 議会からのこたえ-

「まずは自分たちでやってみる」という 意見は、協働の町づくりの基本であり、頼 もしい声です。このような意見が増えてく るように、議会としてもさらに住民理解に 努めます。また、高齢者が無理なくまちづ くりに参加できる体制を、地域の皆さんと 考えていきます。

第3セクターの民営化は、議会としても 行財政改革で取り組むべき重要課題と 認識しており、3月定例会の決議で町に 申し入れました。

5 くずまき議会だより No.134 平成18年4月19日